記者発表資料

平成２８年４月１日
津軽ダム工事事務所

４月１日 津軽ダム平常時最高貯水位に到達！

～目標となる洪水時最高水位まであと１１．４ｍとなりました～

津軽ダムは、平成２８年度の完成を目指し、平成２８年２月１３日から試験湛水を行っておりますが、４月１日、「平常時最高貯水位（ＥＬ．２０４．９ｍ）」に達しましたのでお知らせいたします。

これまで、津軽白神湖の貯水位は、順調に上昇しています。

また、湛水開始以降、これまで、ダム本体や放流設備、基礎地盤、貯水池周辺地山の変状等は確認されておりません。

今後は、津軽白神湖の貯水位を洪水時最高水位（ＥＬ.２１６．３ｍ）まで上昇させた後、監視を続けながら水位を低下させ、問題がなければ試験湛水を終了させる予定です。

津軽ダム工事事務所では、ホームページにおいて、津軽白神湖の水位や写真（スライドショー）などの試験湛水状況を紹介しております。

津軽ダム工事事務所 HP　http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru/

平常時最高貯水位に到達した津軽ダムと津軽白神湖の写真（別紙参考資料参照）を添付しております。

＊試験湛水とは、本格的なダム運用を始める前に、実際に水を貯めて、貯水位を上昇及び下降させ、ダム本体や放流設備、基礎地盤、貯水池周辺地山等の安全性を検証するための試験です。

＊平常時最高貯水位とは、常時満水位ともいい、洪水でないときにダムに貯水できる最高の水位です。

＊洪水時最高水位とは、サーチャージ水位ともいい、洪水時にダムに貯留できる満杯時の水位です。

〈発表記者会：弘前市記者会、専門記者会〉

［問い合わせ先］
国土交通省　東北地方整備局　津軽ダム工事事務所
〒036-1411　中津軽郡西目屋村田代字神田５７
電話　0172-85-3005　FAX 0172-85-3008
広報担当　佐々木（ささき）誠一（せいいち）（内線407）
調査設計課長　遠藤（えんどう）俊彦（としひこ）（内線351）

参考資料

【平常時最高貯水位に到達した津軽ダムと津軽白神湖】



【左岸側から撮影（平成２８年４月１日）】



【天端から撮影（平成２８年４月１日）】